

IV 防災対策マニュアル

1、障がい者地域生活援助事業部会防災マニュアル

(目 的)

このマニュアルは、社会福祉法人愛護会が運営しているグループホーム入居者の安全と、災害時の緊急対応について定め、人命の安全確保を最優先として備えるものである。

(1) グループホームの立地条件

奥州市及び金ケ崎町が策定している地域防災計画防災ハザードマップ等の浸水、土砂災害が想定されている地域については、グループホームを設置しないこととする。現在既に設置しているホームについては、災害時における対応マニュアルによって対処することとする。(下小谷木荘、けやき荘)

(2) 災害に関する情報の入手

県、市町村から発令される、「避難指示(緊急)」「避難勧告」「避難準備・高齢者等避難開始」情報について迅速に入手するものとする。入手方法については次の通りとする。

- ① テレビ放送
- ② ラジオ放送
- ③ 緊急速報メール
- ④ 広報車、消防団による広報
- ⑤ 電話、FAX
- ⑥ 警察、近隣住民等による声かけ

(3) 緊急災害時の連絡先手段を整備する。

- ①職員の緊急連絡網
- ②利用者情報(家族等の連絡先)

(4) 避難を開始する時期

県、市町村から発令される、「避難指示(緊急)」「避難勧告」「避難準備・高齢者等避難開始」情報に基づき避難するものとする。但し、身の危険を感じた際には、状況に応じて避難誘導することとする。

(5) 避難場所

非常災害時には、市町村が定める指定収容避難所を活用するとともに、同一法人内の施設とも連携を図り避難するものとする。下小谷木荘、けやき荘については別途定める。

(6) 避難方法

避難方法としては、自転車、徒歩、車いす等、施設車両を活用し、状況に応じた避難方法をとる。

(7) 関係機関との連携体制

非常災害時には、関係機関と連携を図ることが必要なことから、日ごろからの防災訓練を活用して、

地域住民等の協力関係を構築する

(8) 災害時の人員体制

- ① 震度4以上の際 勤務者は安全配慮に努め施設点検を行い当日日直者へ報告する。
- ② 震度5強以上の際、職員は自主出勤(援助センターもしくは担当ホーム)し安全配慮に努め所属長の指示を仰ぐ。 ※家庭が震災した際等についてはこの限りではない。
- ③ 地域に相当規模の災害の発生が予測され、その対策を要すると、管理者が判断した時、速やかに避難誘導をする。

(9) 役割分担

① 統括責任者

施設長がこれに当るものとし、常時の火災予防について徹底を図り、グループホームに関する防災管理を統括する。

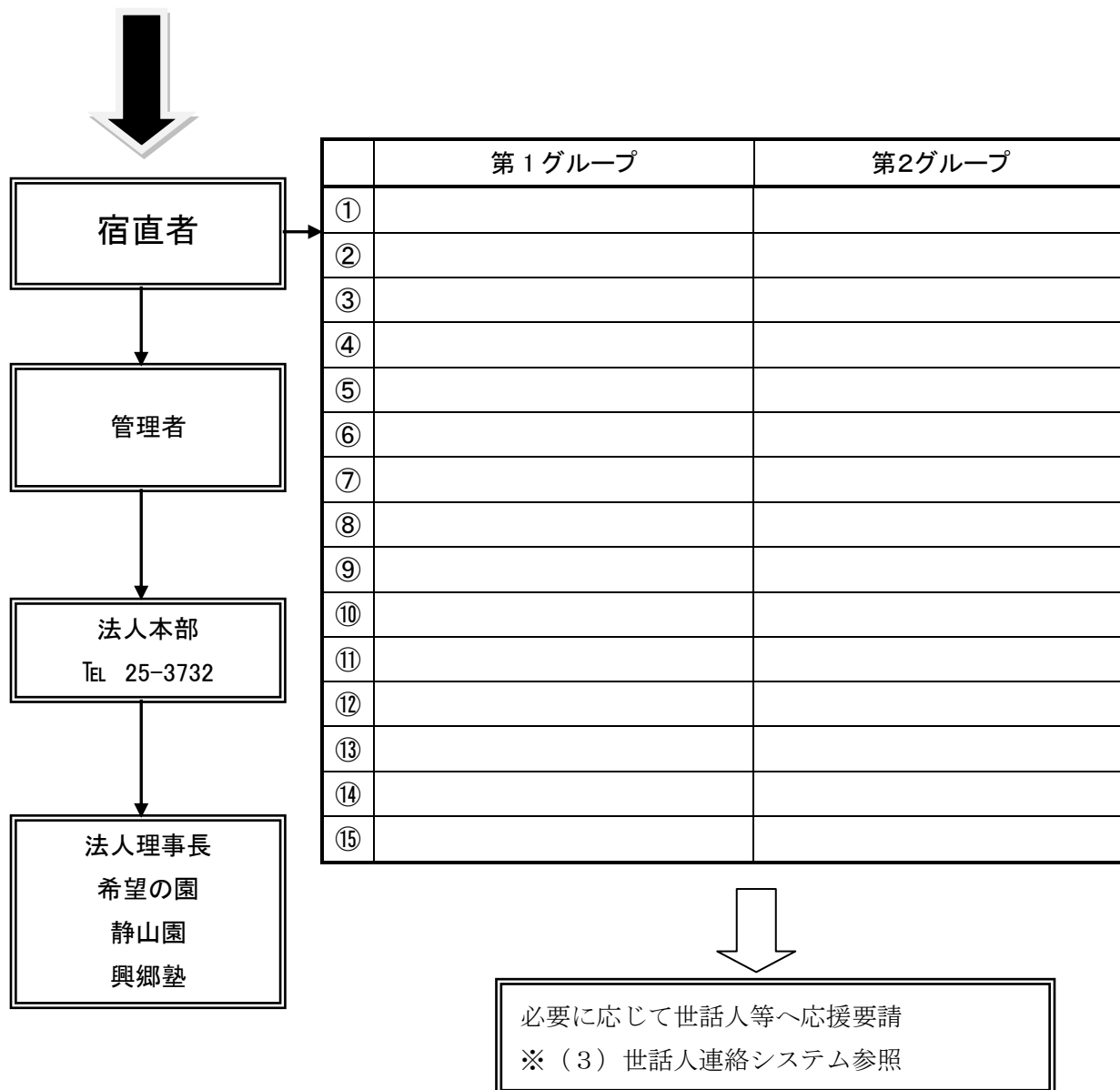
(10) 訓練

- ① 防災訓練(避難訓練)の企画・実施
- ② 入居者への防災予防についての指導
- ③ 地域の防災関係者との連携
- ④ 災害時にそなえ、各地域の避難場所をグループホーム毎に明示し、定期的に避難訓練を実施する。

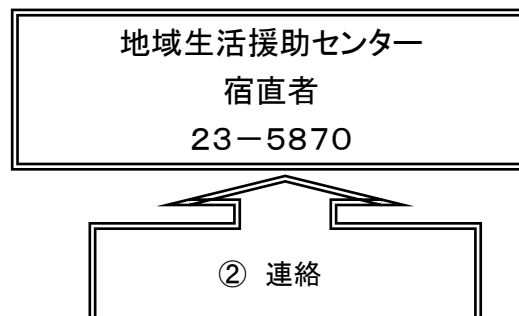
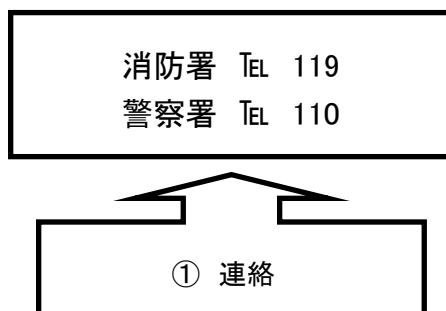
2、緊急連絡網

(1) 緊急連絡網

援助センター、各グループホーム等からの連絡通報



(2)グループホームの連絡システム



グループホーム名	電話番号	グループホーム名	電話番号
あかつき荘	22-6803	さつき荘	23-5756
あかね荘	24-9155	下小谷木荘	22-7545
朝日荘	22-6069	真城荘	23-2059
朝日荘2	22-4860	神明荘	25-3333
あてるい荘	51-6216	すみれ荘	24-4833
泉町北荘	23-2858	堤根荘	23-2863
かえで荘	51-5600	つばき荘 1-1、1-2	22-4301
垣ノ内荘	26-2003	つばき荘 2-1、2-2	22-4302
熊ノ堂荘	22-2527	東中荘	51-6620
グリーンホーム	51-1726	ひばり荘	26-3722
くるみ荘	26-4680	見分森荘	47-2244
けやき荘	22-4435	めいわ荘	24-4698
さつき荘	23-5756	もみじ荘	51-6009
こうめ荘	22-2883	よつば荘	22-2756
		わかば荘	22-2228

(3) 世話人の連絡システム

宿 直 者



	第1グループ	第2グループ	第3グループ
①			
②			
③			
④			
⑤			
⑥			
⑦			
⑧			
⑨			
⑩			

(4) 防火管理者

場 所		正	副
援助センター	事務室		
	相談室		
	給湯室		
支援センター	事務室		
	相談室		
	給湯室		

3、年間防災訓練計画

(1) 年間防災訓練計画表(4月～9月)

	4月20日(金)	5月9日(火)	6月3日(土)	7月6日(木)	8月4日(金)	9月9日(土)
重点目標	・急変時の対応と応急手当の知識と技術を習得する。	・よく聞いて行動する(地震想定)	・正確な情報収集と避難及び自宅待機の方法の確認	・速やかな避難と連絡	・緊急時の連絡先の確認	・正確な情報収集と避難及び自宅待機の方法の確認
想定	災害を含め利用者の急変時	・PM 7:30 ・地震発生	・AM 8:00 ・大雨等による避難	・PM 7:00 ・台所より出火 ・夜間を想定	・PM 6:30 ・災害発生後	・AM 8:00 ・大雨等による避難
避難移動	なし	・窓を開け指定避難場所へ	・誘導により避難場所に避難する(下小谷木荘、けやき荘) 他は待機	・避難口より指定避難場所に避難する	なし	・誘導により避難場所に避難する(下小谷木荘、けやき荘) 他は待機
防災作業	・急変時の対応と応急手当の方法を学ぶ	・火気点検 ・窓の開放	・情報の収集 ・避難又は待機	・通報訓練 ・世話人は非常持ち出し	・援助センター及び緊急連絡先の確認 ・連絡が取れない時の対応	・情報の収集 ・避難又は待機
原回復す		・身辺処理	・平常の精神状態に戻す	・就床の準備 ・衣類の始末		・平常の精神状態に戻す
備考		・素足の危険についての指導	・避難の方は必携品の確認 ・自宅待機	・落ち着いて誘導する		・避難の方は必携品の確認 ・自宅待機

	10月15日(日)	11月7日(火)	12月8日(金)	1月5日(金)	2月8日(木)	3月2日(金)
重点目標	・消火器使用 訓練	・正確な報告	・災害時の食事 について	・速やかな避難	・よく聞いて 行動する (地震想定)	・よく聞いて 行動する
想定	・冬期にむけ 実施、訓練	・AM 6:30 ・民家より出火	・停電時の食事 を想定	・PM 7:00 ・民家より出火	・PM 7:00 ・地震発生	・AM 6:30 ・台所より出火
避難移動	・泉公園にて 訓練	・避難口より 指定避難場所 に避難する	なし	・誘導により避難 場所に避難 する	・窓を開け指示 に従う	・状況に応じて 指示に従い 避難する
防災作業	・専門業者立会 い訓練実施	・指示により窓 の閉鎖	・世話人は非常 持ち出し袋の確認	・火気点検	・火気点検	・火気点検
原旧復す	・平常の精神 状態に戻す	・平常の精神 状態に戻す		・食事等の後 始末	・食事等の後 始末	・寝具、衣類の 始末 ・食事の摂取 ・出勤の準備
備考	・太陽の会と 合同での訓練	・同居者の避難 確認	賞味期限等の 確認	・足元の注意 ・防寒に対する 配慮	・足元の注意 ・防寒に対する 配慮	・起床時の訓練 ・落ち着いた 訓練

年間防災訓練計画表(10月～3月)

(2)環境整備・点検

7月 及び 12月 設備の管理、安全点検 法人施設課と協働にて実施

(3)避難誘導灯及び特定小規模施設用自動火災報知機の設置

平成29年度中に順次、設置を進めていく。

～台風、大雨等浸水等の恐れがある災害の際の対応について～

	利用者	援助センター・G H (勤務者)	職員・世話人 (公休等)
避難準備情報	・下小谷木荘、けやき荘は、ときわ寮へ避難する。他ホームは待機。	・下小谷木荘、けやき荘は、ときわ寮または、援助センターへ避難させる。	・待機する。 (指示があるまで連絡を待つ)
	・テレビ、ラジオなどの情報収集に努める。(公共交通機関の状況等も)	・テレビ、ラジオなどの情報収集に努める。(公共交通機関の状況等も)	・テレビ、ラジオなどの情報収集に努める。
	・不要不急の外出は避ける。	・公共交通機関の確認・送迎対応	
避難勧告	・下小谷木荘、けやき荘は、ときわ寮または、援助センターへ避難完了し待機。他ホームは待機。状況によって2階で過ごす事センターより伝える。	・下小谷木荘、けやき荘は、ときわ寮または、援助センターへ避難完了し、待機。	・出勤要請が来る可能性が大きいので必ず連絡が取れるようにし、気をつけておく。
		・テレビ、ラジオなどの情報収集に努める。(公共交通機関の状況等も)	・テレビ、ラジオなどの情報収集に努める。
	・テレビ、ラジオなどの情報収集に努める。(公共交通機関の状況等も)	・公共交通機関の確認・送迎対応	
	・不要不急の外出は避ける。		
避難指示	・下小谷木荘、けやき荘は、ときわ寮または、援助センターへ避難完了し待機。他ホームは待機。状況によって2階で過ごす事センターより伝える。	・下小谷木荘、けやき荘は、ときわ寮または、援助センターへ避難完了し、待機。	・出勤要請が来る可能性が大きいので必ず連絡が取れるようにし、気をつけておく。
		・テレビ、ラジオなどの情報収集に努める。(公共交通機関の状況等も)	・テレビ、ラジオなどの情報収集に努める。
	・テレビ、ラジオなどの情報収集に努める。(公共交通機関の状況等も)	・公共交通機関の確認・送迎対応	
	・不要不急の外出は避ける。		